

伝統行事「お通り」



2 特集 診療所と地域医療

- 10 新しい民生委員児童委員
- 12 米価下落特別支援制度を実施します
- 13 地デジの対策はお早めに!
- 14 シリーズさとやま博
- 15 みんなでまちづくりシリーズ
- 16 除雪作業にご理解とご協力を
- 17 健康広場「ウォーキングのすすめ」
- 18 市政トピックス
- 20 カメラレポート
- 25 お知らせ

武者行列や母衣が練り歩く「お通り」が11月3日、街道路東城で開催。
(関連記事22ページ)



(平成18年12月16日撮影)

Vol.19 備北丘陵公園の ウインターイルミネーション

しよばら 百景

SHOBARA
HYAKKEI

庄原の冬の風物詩となった、
国営備北丘陵公園のウインター
イルミネーションです。
毎年、仲間と一緒に写真を撮
りに行っています。このときも
仲間3人で足を運び、丘陵公園
内の少し小高い丘の上から撮影
しました。とても寒かったこと
を覚えています。白い息を吐
きながら多くのお客さんが楽し
んでいます。今年も楽しみに
しています。

柏本 禮次(中本町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発
見するコーナーです。風景写真はも
ちろん人物写真でも結構です。あな
たの好きな庄原市の風景を写真で紹
介してください。また、この写真への
思いや撮影エピソードなどを200
字程度にまとめ、郵送またはメール
でご応募ください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市企画課広報統計係
☎0824-73-1159
メール kikaku-toukei@city.shob
arahiroshima.jp

広告

住まいの再生をお考えの方、今すぐクリック!

戸建てリフォーム革命 イベント広島

検索

携帯からはこちら



住友不動産

建設業登録 国土交通大臣許可(特-22)第4638号
新築そっくりさん 広島東営業所



0120-356-218

新築そっくりさん で検索 <http://www.sokkuri3.com/>



へき地医療がかかえている問題には、医師や看護師などのスタッフの不足や、医療・入院施設の不備、中核・支援病院や最新医療情報からの疎遠などいろいろな側面があり、それぞれの問題点がお互いにマイナスに働きあつて、へき地医療を改善するための努力や試みの障害となつていといわれています。また、昨今の医師不足は大病院でも深刻で、これまで行つてきた診療所への医師派遣が困難な課題として浮き彫りになってい

「地域医療の厳しい現状」

Chapter 01

庄原市の医療の現状

「住民を支える診療所のいま」

庄原市の人口は10月末日現在、4万712人。1市6町が合併した5年前と比べて約3千人減り、65歳以上の高齢者が37.4%、旧庄原市以外の地域は、ほぼ40%を超えています。県の指標と比較してみると、高齢化が大きく進んでいることがわかります。

市内には、入院治療を必要とする重症救急患者を受け入れている病院（二次救急医療機関）として、庄原赤十字病院、西城市民病院の2つの病院があり、中核的な役割を担っています。しかし、この2つの病院までが遠く、時間がかかる場所にお住まいの方、特に高齢の方は、受診に行こうとするだけで負担になってしまいます。それだけに、それぞれの地域にある身近な診療所は、入院を必要としない初期救急の役割を担う「かかりつけ医」として、わたしたちになくてはならないものとなっています。

庄原市内の病院および診療所などの医療施設マップ

地域別の医療施設の数と医師数

高野地域	
人口	65歳以上の人口
2,143	872
高齢化率	医療施設数 医師数
40.7%	3 3

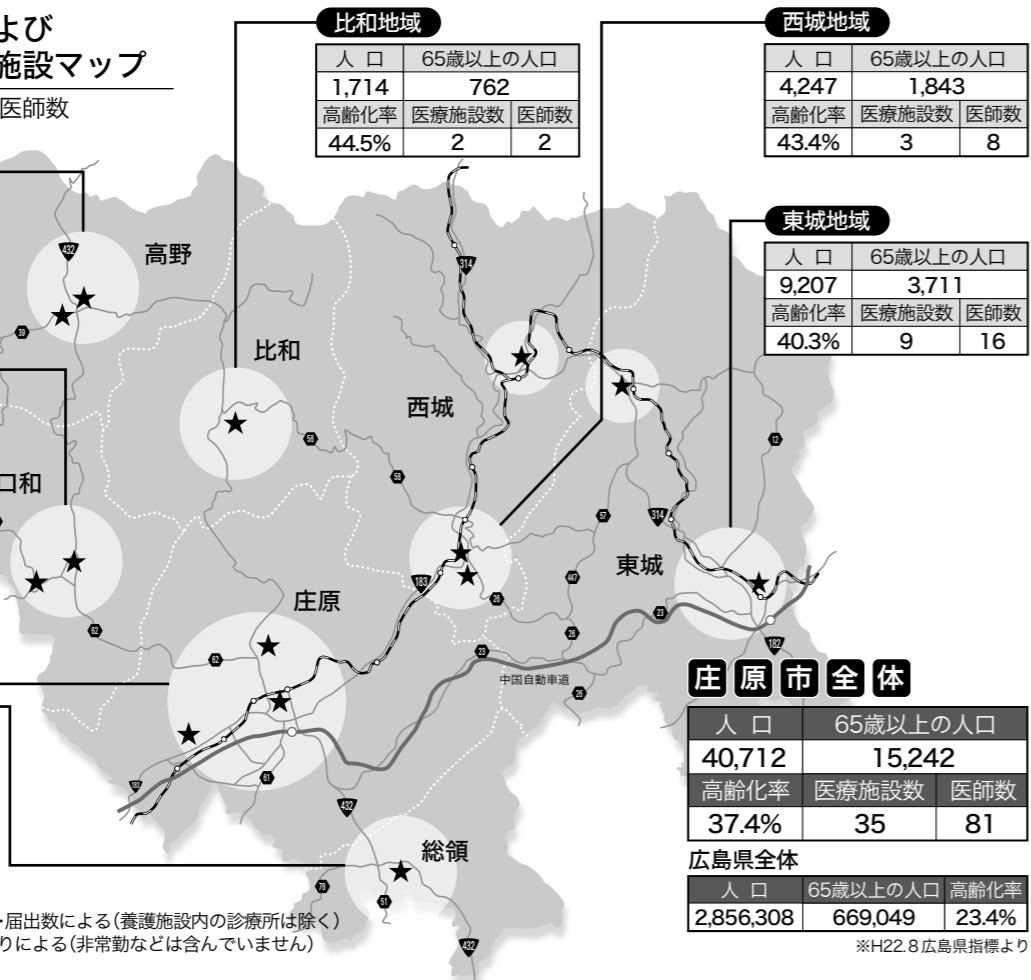
口和地域	
人口	65歳以上の人口
2,344	942
高齢化率	医療施設数 医師数
40.2%	2 2

庄原地域	
人口	65歳以上の人口
19,417	6,466
高齢化率	医療施設数 医師数
33.3%	15 49

総領地域	
人口	65歳以上の人口
1,640	646
高齢化率	医療施設数 医師数
39.4%	1 1

★…診療所などの医療施設

※医療施設数は、広島県への開設許可・届出数による（養護施設内の診療所は除く）
※医師数は、医療施設などへの聞き取りによる（非常勤などは含んでいません）



市内には、庄原赤十字病院や西城市民病院といった大きな病院があります。一方、中心地から周囲に目を向けると、小さいながらも頑張っている診療所があります。

皆さんは、「へき地」や「へき地医療」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

最近では、テレビドラマや情報番組などでも、へき地・へき地医療という言葉をよく耳にするようになりました。この、「へき地」や「へき地医療」とは何でしょうか。

全国的に医師不足が深刻となる中、中山間地はさらに医療の危機に直面しています。いま近くにある診療所が

なくなってしまうのか。なくなってしまうとどうなるのか。

何かあったときにすぐ近くの病院で受診できることが、安心して暮らしていける礎になります。ここ庄原市に、安心してずっと住みつづけていくために、へき地医療についてみんなで考えてみましょう。

特集 SPECIAL FEATURE

診療所と地域医療

A medical office and a community medicine

へき地医療を考える



【へき地とへき地医療】

①へき地とは

「都会までが遠く、へんぴなところで、山間部や離島など、交通や通信の不便な地域。自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地、離島その他の地域のうち、医療の確保が困難である地域をいう。また、※無医地区、無医地区に準じる地区、へき地診療所が開設されている地区などが含まれる」といわれています。

※無医地区：医療機関のない地域で、その地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径4kmの区域内に人口50人以上が居住している地区であつて、かつ容易に医療機関を利用することができない地区。

②へき地医療とは

へき地で行われる医療のことです。主に「へき地診療所」や「小さな病院」が行っています。庄原市では、各地域にある診療所がそれにあたります。

そして、診療所と大きな病院との連携や、医師がいない時には、代わりの医師の派遣や専門医による巡回診療など、これらを含めたものをまとめて「へき地医療」と呼んでいます。

※病院：20床以上の入院施設が整った医療機関
※診療所：入院施設は有しているが、19床以下の場合や、まったく入院施設のない医療機関



週一回、在宅患者を訪問

「ご家族の献身的な看護が見てとれること、ありがたう」という言葉を言っていたということ、そういった思いをもっている感じがする部分です。そして「本当に地域の皆さんに支えていただいている」と繰り返す永井医師に、地域の方々との心のつながりを強く感じます。そういう永井医師も、つらいと思うことがあると言います。それは、一人の診療では完璧にならない部分があり、患者に迷惑をかけているのではないかと、医師として患者の期待に応えられていないのではないかと、いろいろなことを少しずつ改善して、よりよい方向に進んでいければと思っています。地域の医療に対する思いの強さが言葉に表れます。

「地域の皆さんの支えがあるか

●永井先生にいつも感謝

いつも診療所を利用して、忙しいときでも丁寧に見てくださり、朝早くから夜遅くまで診察して下さいます。若いのにとても腰が低く親身になってくれ、信頼できる本当に良い先生。この先生がいるから診療所に通うという患者さんが多い。わたしもその一人です。いま地域で元気に活動できているのも先生のおかげです。



奥 カズエ さん
(総領町稲草)



やさしく声を掛けながら診療

「4年、自身が目指す、診療所だけの医療から地域の人たちと一緒にやっていく医療に、近づいてきたと実感しています。」

現場から
その1

●国民健康保険 総領診療所



市役所総領支所裏にある国民健康保険総領診療所は、旧総領町が設置し、合併以降も公設の診療所として、総領地域の医療を支えています。医師1人、看護師2人、臨時看護師1人(半日)体制。

なが い みち あき
永井 道明 所長

自治医科大学医学部卒業後、県立広島病院総合診療科に2年間勤務。平成17年から庄原赤十字病院内科に2年間勤務し、平成19年から現職。安芸高田市出身、33歳。

「こんにちは。〇〇さん調子はどうですか?」往診先のお宅で、笑顔でやさしく語りかける総領診療所の永井道明医師。毎週木曜日の午後は、総領町内で診療所に足を運ばない患者の自宅まで往診に出向きます。
「だいぶよくなっていますよ」という永井医師の一言に、見守る家族の表情が和らぎます。往診する患者の多くは、自宅から外出する

ことが難しい状態にあるため、付き添う家族も「先生の往診は本当にありがたい」と話します。
そんな永井医師ですが、往診に行く前には、前よりも健康状態が悪くなつていないかという心配になります。しかし、診察してみて健康状態が良くなつていて、そのご家族の方が親身になって見てくれているのだと思えば、感謝の念がこみ上げてくるそうです。

Chapter 12 診療所という現場を知る

地域の医療ステーションとして不可欠な診療所。診察やけがの治療などのほか、住民の拠り所としての役割も担う診療所は、地域住民から寄せられる期待も大きいものがあります。各地域にある2つの診療所をレポートします。



下高保育所での健診の様子

「できる限り、ずっとここで診療を続けよう」と。高野診療所の山崎力医師は、力を入れてこう続けます。「自分のふるさとですからね」。
地元出身の医師として、高野診療所で勤務することを決意したのは6年前。広島大学大学院で4年の研究期間を終えるころ、当時の高野町長と助役の2人から地元での診療を勧められたのがきっかけでした。「お話をいただいたときに、

●よく利用しています

インフルエンザの予防接種にやってきた年盛さん、土居さん、林さん。「町内に診療所がありとても安心」先生も話しやすく、会話にも乗って来てとてもいい先生」と話す。



更新された最新の医療機器

かなど、そういう部分まで考えてあげる必要がある」と話し、地域医療の実情に目を向けます。「何でも相談できる地域に必要なとされる医師でありたい」。生まれ育った高野の医療を支え続けます。

現場から
その2

●高野診療所



高野福祉保健センター内にある高野診療所は、旧高野町が設置し、合併以降も公設の診療所として、高野地域の医療を支えています。医師1人、看護師3人体制。

やま さき ちから
山崎 力 所長

広島大学医学部を卒業後、同大学の外科に入局。大学での1年間の研修を経て、県立広島病院小児外科に2年間、本郷中央病院一般消化器外科に2年間、安佐市民病院心臓血管外科に3年間勤務。平成12年から広島大学大学院で4年間、遺伝子関連の研究に携わる。平成16年から現職。高野町出身、41歳。

「何を相談できる地域に必要なとされる医師でありたい」。生まれ育った高野の医療を支え続けます。... かなど、そういう部分まで考えてあげる必要がある」と話し、地域医療の実情に目を向けます。「何でも相談できる地域に必要なとされる医師でありたい」。生まれ育った高野の医療を支え続けます。... かなど、そういう部分まで考えてあげる必要がある」と話し、地域医療の実情に目を向けます。「何でも相談できる地域に必要なとされる医師でありたい」。生まれ育った高野の医療を支え続けます。



西城地域に限りませんが、高齢化率の高さから有病率も高く、通院する人や医療ニーズが増えている中、今の体制を維持していくには、病院や行政だけでなく、もっと広い視点で考える必要

しかし、西城市民病院の医師は現在6人。病院の機能を維持していくには、ギリギリの体制です。医者の数や医療スタッフが少ない中で、住民の皆さんに今までと同じような医療提供は難しくなっています。

西城町には開業医が現在2人いらっしゃいますが、高齢で後継者もいないため、いつまで存続するかは不透明です。このことから、西城地域の医療に対する西城市民病院が果たす役割は大きいと言えます。

この場合、経営が成り立たなければ、病院になる危険性があります。

どのような視点が必要か

今の医療現場には「働きやすさ」が求められています。一方、民

Chapter 03 へき地医療を守るには

へき地医療を守っていくために必要なこととは。市内で医療を支えている医師お二人に、地域医療に対する思いを伺いました。



地域医療を共に考える

地域医療の現状は、全国的に医療の都市部への集約化、医師研修

制度の見直しなどによって、地域の医師が減少し、医療崩壊へと進んでい

ます。庄原市では、病院の医師の減少、診療所の継承や医師の高齢化、看護師不足などが問題となっています。

この現状を打破するため、昨年、庄原赤十字病院と診療所の連携の強化と、皆さんに利用しやすい医療体制を構築することを目的に、庄原市、庄原赤十字病院、庄原市医師会の3者で「庄原市の地域医療を考える会」を立ち上げました。この会の運動と広島大学・広島県が取り組みを進めていくことで、情勢が少しずつ改善に向かっています。これに関連して市は、医師や看護師を目指す人への奨学金制度を設

Interview about the medical care



庄原市医師会
戸谷 完二 会長



西城市民病院
郷力 和明 院長

要があると思います。これまでできていた診療ができなくなり、住民の皆さんにしわ寄せが行ってしまうことになりかねません。

連携が不可欠

山間地域の診療所として必要

なサービスは、医療、介護、保健福祉といった分野の連携をいかにとるかということです。西城市民病院も診療所と同様に、訪問診療や健診、デイサービスなどを行っており、入院し退院された後も、各分野と連携し支援体制をとっています。西城町は無医地区が多いですが、西城市民病院があることで、住民の安心につながっています。7月に災害が起きた大戸地区もそうですが、こういった医療体制をとっている西城市民病

けたり、「考える会」では、看護師不足と地域医療の展望について考えるシンポジウムを開催したりするなど、地域医療に対する取り組みを進めています。

話が変わりますが、地産地消という言葉があります。それは医療の分野でも言えるのではないのでしょうか。地域の皆さん、行政、医療者が一緒になってみんなで地域社会、医療を守り育てていくことが必要です。それには、3者が「お互いさま」の気持ちを持つことが必要不可欠です。

変わり行く診療

病

院は、入院患者と専門外来を診る、診療所は、外来患者を診る、というような診療体制が、今後わが国の主流になると思われま

(外来で治療できる病気に対する医療)と二次医療(より専門的で、入院を必要とする病気に対する医療)を区分けすることで、病院の医師は二次医療をしっかりと診ることができ、一次医療からの負担を軽減することができま

市民の皆さんへ

本人の平均寿命は世界一ですが、自分の人生の最期が他人任せになっ





Chapter 04 住民として できることは何か

ふと気付いたときに診療所がなくなってしまった、となっては後悔しても遅すぎます。地域医療を守り続けるために、わたしたち市民も一緒になって考え、行動できることがあるとすれば、どんなことでしょうか。



◎ 岩瀧武雄さん(口和町)

医師としっかり接すること

その地域の人が診療所でしっかり診てもらうことが何より必要だと思います。また、診察してもらうだけでなく、先生とコミュニケーションを交わすことが、とても大切だと思います。医師と患者という関係だけではなく、お互いに心が通えば、地域にも愛着をもつていただけ、ここで続けようと思っただけのきっかけになると思います。



◎ 久保田昭美さん(東城町)

予約受診を心掛ける

遠くの大きい病院よりも、近くの診療所で診てもらおうようにしています。また、どうしても大きい病院で受診する場合は、診療所から予約してもらって受診すればどうでしょうか。大きい病院では患者さんが多く、すぐには診てもらえないことがよくあります。予約することで、時間に合わせて診ていただけます。医師の負担も減ると思います。



◎ 池上徳明さん(川手町)

医療情報を集めること

病気や症状を勉強しておくということが必要ではないでしょうか。病気の特徴などを知っておけば病院へいくかどうかの判断材料になります。今は、インターネットを利用すれば医療情報が簡単に入手できるので便利です。また、家庭でできる昔ながらの治療法を見直してもいいかも知れません。病院に行かなくても済むほうがいいですよ。

Chapter 05 課題に立ち向かう

診療所を含め地域医療が抱える課題を克服するために、市はどう取り組んでいくのか。その考えや今後の取り組みを西田英司保健医療課長に聞きました。



保健医療課
西田英司 課長

連携を強固に

「医療崩壊の危機」と言われるように、今日の医療情勢は大変厳しい状況です。病院や診療所が必要とする、医師・看護師を確保することができる仕組みづくりは、国の責務であり差し迫った重要な課題です。

ようやく国は、医学部の定員枠を広げるなどの医師を増やす方向に政策転換を図っていますが、効果が現れるまでにはしばらく時間がかかります。現在、市民の皆さんの健康と安心を支える診療体制は、入院を必要とする重症患者の受け入れ態勢を整えている庄原赤十字病院と西城市民病院、各

努力を積み重ねる

市は、公的な市内の病院や診療所に最新の医療機器を整備するなど、医師が働きやすい環境を整えるための取り組みを積極的に行っています。また、病院と診療所の連携がより充実するように、病院と診療所を光ファイバーでつなぎ、情報通信網を活用した「地域医療連携ネットワークシステム」の整備を進めており、平成23年4月の運用開始を目指しています。

市全体の地域医療を将来にわたって守っていくためには、「庄原市の地域医療を考える会」の取り組みを充実させ、目の前の課題を一つ一つ解決するための努力を積み重ねていくこと、そして、行政や医師会など医療関係者の努力だけでなく、地域診療に懸命にあたっていたらいてる医師や看護師などの医療スタッフを、市民一人ひとりが守っていくという努力も不可欠です。医療スタッフに感謝の気持ちを伝えることで信頼関係を築くことができるとともに、医療スタッフが働きやすい地域、働いてみたいと思えるような地域になると考えています。

POINT



1 重度でない場合はまず診療所へ

大きな総合病院では、診察してもらおうまでに長い時間がかかってしまうことがよくありますので、まず診療所で受診することをすすめます。診療所の利点として、軽い症状であれば、診療所は総合的に診ることができます。また、症状が重い場合は、専門医にきちんと紹介してもらえます。患者さんの状態をあらかじめ知らせ、検査などの予定も組んで診ていただくことが可能です。

2 かかりつけ医をもつ

複数の病院や診療所を受診することは避け、かかりつけ医をもちましょう。普段から診察していることで、身体機能やこれまでにかかった病気など患者ご本人の情報を蓄積することができ、身体の異常に気が付きやすくなります。

取材を終えて

「医者には来てほしいが、大都市でも足りない。ましてや、こんな田舎に来てくれるわけがない」といった声を耳にすることがありました。確かに、多くの面で都会には魅力が多いと思いますし、医師が望む環境がより整っているかもしれません。しかし、物理的なものだけでなく、「患者のマナーがいい」「地域の人から大切にされる」といった面が、医師にとっても大きな魅力なのだと思います。診療所は、まさにこのことがあから明瞭で続いている、と力を込めて話されていたのがとても印象的でした。

現在、庄原市の地域医療を考える会や庄原の小児医療を考える会、さらには、市民一人一人が考えることが必要です。絶対に診療所をなくしてはいけません。

●東城地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Tocho region.

●西城地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Seibu region.

●総領地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Soryu region.

●比和地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Hiwa region.

●高野地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Takano region.

●口和地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Kowa region.



任期満了に伴い、民生委員児童委員が改選されました。12月1日付けで、厚生労働大臣から委嘱を受け、すでに活動されています。(再任を含む)任期は3年です。民生委員児童委員は、高齢者や障害者、児童、ひとり親家庭をはじめ、日常生活で悩みを持っている人の相談に応じ、地域社会の福祉の増進に努めています。委員は、公正中立な立場で相談に応じ、秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。なお、名前の欄が(※)印の区域にお住まいの方は、本庁・支所の担当課・室にご相談ください。

●本田敦信地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Honda Atsuhiko region.

●東山内地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Higashiyamauchi region.

●庄原地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Shihara region.

●高北地区

Table with 2 columns: 名前 (Name) and 担当区域 (Responsible Area). Lists members for the Takahira region.

社会福祉課生活福祉係

0824-731166

新しい民生委員児童委員

問い合わせ先

社会福祉課生活福祉係

0824-73-1166

西城支所保健福祉室

0824-82-2202

東城支所保健福祉室

08477-2-5131

口和支所市民生活室

0824-87-2114

高野支所市民生活室

0824-86-2114

比和支所市民生活室

0824-85-3002

総領支所市民生活室

0824-88-3110

地デジの対策は お早めに!

政策推進課地域情報係
☎0824-73-1113

ご家庭の地デジ化は、お済みですか?



2011年7月完了 地デジ化

Analog broadcast will fully switch over to Digital broadcast by July 2011.
©日本放送協会2009

平成23年7月にはアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行します。地上デジタル放送への対応を行わなければ、テレビが視聴できなくなりますので、早めの対応をお願いします。

今回は、10月17日に開催された「ふれあい東城まつり」で地デジをPRした、地上デジタル放送推進大使(地デジ大使)(株)広島ホームテレビ 小嶋沙耶香アナウンサー、(株)テレビ新広島 石井百恵アナウンサーとクイズ形式で地デジについてお伝えします。

※答えはページ下段

Q いよいよ最終問題!

日本では来年7月でアナログ放送が終了しますが、世界では既に終了している国があります。それは次のうちどれでしょう?

①アメリカ
②韓国
③イギリス

Q 続いて第2問!

広島県における地デジ対応テレビの世帯普及率は次のうちどれでしょう?

(総務省が今年3月に実施した調査結果による)

①75.8%
②85.8%
③95.8%

Q それでは第1問!

地上デジタル放送を見るために必要なアンテナは、次のうちどれでしょう?

①UHFアンテナ
②VHFアンテナ
③BSアンテナ

地デジ対応テレビに切り替えれば、ほとんどのご家庭で地上デジタル放送をご覧いただけますが、中には切り替えても見られないことがあります。原因としては、①電波が弱い②デジタルが混信する③共聴設備のデジタル化が済んでいない、などが考えられます。そのときは、デジサポ広島または政策推進課・各支所地域振興室へご相談ください。

私たち地デジ大使は、地上デジタル放送を周知広報するために活動しています。質問のとおりに、まだまだすべての世帯で地上デジタル放送への対応が済んでいない状況です。アナログ放送の終了が近づくと、アンテナ工事などが込み合う恐れがありますので、まだまだ時間があると思わずに、早めの準備をお願いします。

「電話急げ! デジサポへ!!」
地デジの準備はお早めに!

総務省広島県テレビ受信者支援センター(デジサポ広島)
☎0824-5533-0101

平日 9時~21時
土日祝 9時~18時

東城千鳥中継局が開局しました

本市でデジタル放送の最後の整備中継局(東城千鳥中継局)が、12月1日から本放送を開始しました。当中継局では今まで、広島ホームテレビとテレビ新広島のアナログ電波は発射されていまして、整備費の一部を市が放送事業者へ助成したことにより、両局のデジタル放送も開始されています。また、NHK単独局である帝釈中継局も、今月から本放送が始まる予定です。

庄原市米価下落 特別対策支援制度を 実施します

農林振興課農業振興係 ☎0824-73-1132

平成22年産米は、農家から販売委託を受けた際に全農が前金として支払うコメの概算金が、大幅に下落しました。加えて今夏の猛暑による高温障害の影響から、品質の低下によって農家所得が激減し、市内のコメ販売農家は大きな打撃を受けています。このため市は、本年度に限り、庄原農業協同組合へ出荷されるコメに対して、庄原農業協同組合と共同で30キロ当たり700円の補填金の支給を行います。また、庄原農業協同組合以外へ販売されるコメに対しても、下枠のとおりに支援対策を実施します。なお、庄原農業協同組合に販売されたコメについては、庄原農業協同組合が一括して申請されますので、手続きは不要です。



コメ検査の様子

●対象者
市内に住所があり、かつ、市内でコメ生産をする者で、次の対象のコメを庄原農業協同組合以外へ販売する方。

●対象のコメ
9月1日から平成23年3月31日までにコメ検査を受けた平成22年産米で、うるち玄米・もち玄米・醸造用玄米のうち、等級が特、1等、2等、3等のコメで、販売したもの。ただし、くず米・加工用米は除く。

●交付金額
玄米30キロ1袋当たり200円

●申請方法
次のものを持参のうえ、農林振興課または各支所地域振興室で直接申請

①印鑑
②登録検査機関が発行する検査格付結果通知書(コメ検査を受けた証明書)
③交付金の振込先の口座・番号がわかるもの

※申請書は、農林振興課または各支所地域振興室にあります。また、市ホームページからダウンロードできます。

●申請期限
平成23年3月31日(木)。早めに申請しましょう。

詳しくは、農林振興課(☎0824-73-1132)または各支所地域振興室へお問合せください。

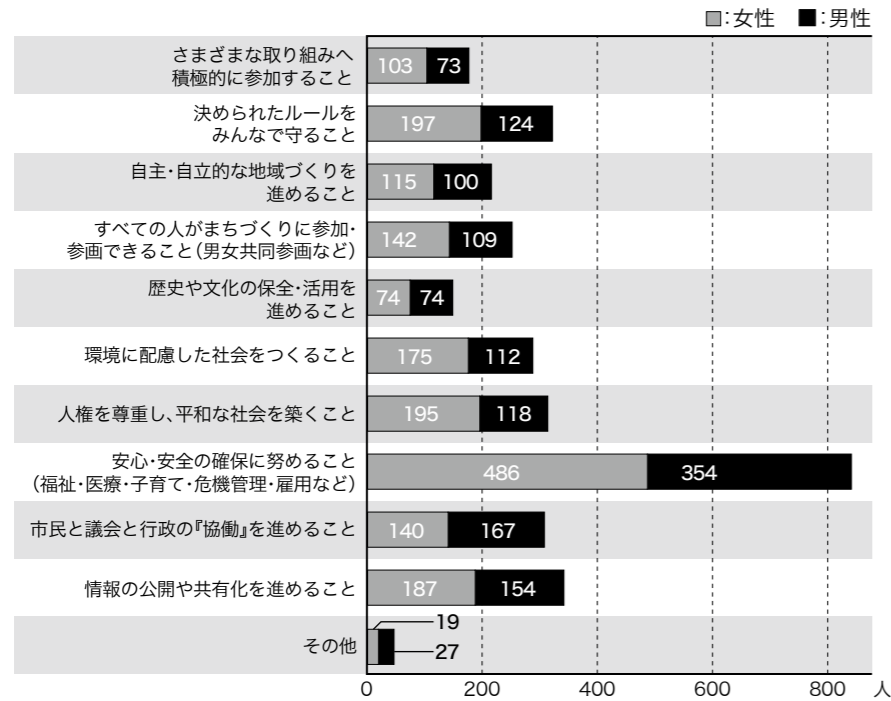


お知らせ
米トレーサビリティ法が、10月1日から一部施行されました。コメを出荷する場合には、取り引き(販売)などの記録作成と保存が義務付けられています。

農林水産省ホームページ
http://www.maff.go.jp/j/soushoku/keikaku/kome_toresa/index.html

● アンケート調査結果

「まちづくりの基本的な考え方について、大切だと思うもの」をお聞きしました。



年代・性別を問わず、最も関心が高いのは「安心・安全の確保に努めること」でした。
また、自由記載欄へは「思いやりや助け合いが大切」「意見を言う場がほしい」「情報がほしい」という意見が多く寄せられ、市民の皆さんが、生活環境に不安があること、まちづくりへの関心が高いことが、調査結果を通して分かりました。

- 1位** 安心・安全の確保に努めること
(福祉・医療・子育て・危機管理・雇用など)
- 2位** 情報の公開や共有化を進めること
- 3位** 決められたルールをみんなで守ること

今回の調査結果のすべてをご覧になりたい方は、自治振興課(☎0824-73-1209)までご連絡ください。また、市ホームページにも掲載しています。

- トップページ
- 各課のページ
- 自治振興課
- 庄原市まちづくり基本条例(仮称)策定について
- アンケート調査結果

策定委員会から

お忙しい中、アンケートにお答えいただいた方、ご協力ありがとうございました。皆さんのまちづくりに対する「思い」をもとに、まちづくりに活かせる条例づくりに努めていきます。引き続き、ご協力をお願いします。

Series みんなでまちづくりシリーズ

Let's make a town together

NO.03

みんなでつくろう！
まちづくりの基本ルール

自治振興課自治振興係 ☎0824-73-1209

まちづくりに対する市民の皆さんの意見や要望を条例に反映させるため、市民アンケートを実施しました。皆さんから寄せられた意見の一部をご紹介します。



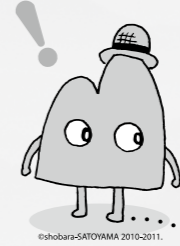
まちづくり基本条例(仮称)策定に関するアンケート調査概要

調査対象：市内在住の15歳以上(H22.8.31現在)の方
調査数：3,000人
抽出方法：住民基本台帳および外国人登録から無作為に抽出
調査期間：10月7日～10月25日
調査方法：郵送による配布・回収
回収数：1,089人(回収率36.3%)

暮らしのハーブ体験「季節の野菜とハーブを使った料理教室」が10月13日、香花(主催者宅・山内町)で実施されました。
この体験メニューには、市内外から4人が参加。菜園でハーブを摘み取り、そのハーブを使った料理づくりを体験しました。
ハーブを摘み取りした参加者は、さまざまな種類の香り高い新鮮なハーブに大喜びし、「このハーブの名前は?」「どんな料理に合う?」など矢継ぎ早に質問していました。

その後、摘み取ったハーブを使い、バジルソースのスパゲッティや鶏肉とワニのハーブ焼き、レモンハーブピネガーなど7品目を、説明を受けながら試作。
参加者は「ゆつくりとした時間を過ごせて、いい気分転換になった」「身近にあるハーブで本格的な料理ができ、とても勉強になった」と喜んでいました。
主催した土井福恵さんは「自分自身とても勉強になる。楽しい一日を過ごすことができた」と話し、体験メニューを実施した手ごたえを感じていました。

再・彩・幸・財
みつけ体験・「さい」発見!
庄原さどやま博
体験メニューレポート!



商工観光課 ☎0824-73-1177



「まちなか交流施設三軒茶屋」を体験メニュー会場として利用できます
体験メニューを作りたいが、実施する場所がない。また、会場の近くに駐車場がなく、場所が分かりづらいなどの理由で体験メニューに参加が難しいと考えている方は、「まちなか交流施設 三軒茶屋」を利用してみてはいかがでしょうか。
●ところ まちなか交流施設三軒茶屋2階交流スペース(中本町1丁目2-11)
※14畳の和室と14畳程度のフロアリングの部屋が利用可能です。(電気、シンク利用可能)
●開設時間 9時～16時(土・日・祝日も利用可能)
※庄原さとやま博の体験メニュー会場として利用する場合は、利用料はいりません。
※詳しくは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室(☎0824-75-0173)まで。

オススメの体験メニュー
紹介リレー
ミニクリスマスツリーづくり

MENU
三村青楓さんのドライフラワーアレンジメント教室です。野山に咲く可憐な花のドライフラワーを使ってさとやまならではの素敵なミニクリスマスツリーを作ります。今年のクリスマスは、ぜひ手作りのオリジナルミニツリーを飾ってください。

とき 12月11日(土)10時～12時
ところ 食彩館しよばらゆめさくら(交流ホール)
定員 1人～10人
料金 1100円+材料費(実費)
※料金は保険料を含みます
※今回は、三村青楓さんの紹介で「西山千恵子さんのステンドグラスづくり」です。お楽しみに。

体験メニューの申し込みは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室(☎0824-75-0173)まで。

除雪作業に

ご理解とご協力を

県と市は、積雪時の通行を確保するため、少しでも早く除雪するように努めています。また、計画的に大型除雪機械を配備し、積雪量の多い地域の除雪作業がより早く行えるよう効率化に取り組んでいます。

除雪作業は、積雪量や障害物などで、作業に時間がかかる場合もあります。また、道路の幅員や構造によっては、すべての市道を除雪することはできません。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

除雪作業を効率よく行うために

- 車道・歩道上に除雪作業の障害となるものは置かないでください。
- 家や駐車場の出入り口は注意して除雪していますが、状況により雪でふさいでしまうことがあります。ご了承ください。
- 道路そばの樹木の枝が積雪でたわみ、通行に支障をきたす場合は、樹木の所有者が撤去するなどの対応をお願いします。なお、特に危険な場合には、伐採させていただくことがあります。



問い合わせ

- 【国道・県道の除雪】
広島県北部建設事務所
庄原支所土木課
☎0824722015
(内線4131)
- 【市道・歩道の除雪】
建設課土木係
☎0824731152
西城支所環境建設室
☎0824822182
東城支所環境建設室
☎0847725141
口和支所環境建設室
☎0824872113
高野支所環境建設室
☎0824862113
比和支所環境建設室
☎0824853003
総領支所環境建設室
☎0824883065

健康広場

ウォーキングのすすめ

皆さん、目的が近くても車で移動をしませんか？

市民の皆さんの中で、普段運動をしている人が49.2%、運動していない人が41.5%(平成18年度庄原市生活習慣に関する調査)という結果が出ています。特に、20歳代から50歳代までの若年、壮年期に運動している人が少なくなっています。

そこで今回おすすめする運動は、ウォーキングです。運動不足の解消や基礎体力の増強、成人病などの病気の予防やストレスの解消もでき、認知症予防などにも効果があります。老若男女問わず、さまざまな世代の方におすすめです。

日ごろ、車で眺めながら通り過ぎる道や風景も、自分の足で歩くことで新たな発見や感動があります。自然に恵まれた庄原市は、ウォーキングに最適な地です。あれこれ考えず、まずは、ウォーキングを始めてみてはいかがでしょう。自然のギャラリィ巡りを楽しみ、心にはたつぷりの栄養を与えて、健康増進効果を高めましょう。



保健医療課 保健師 末廣 康二

「ニコニコペース」で歩きましょう！
ウォーキングなどの有酸素運動を行うとき、おしゃべりができる程度の「ニコニコペース」が健康促進に適していると言われています。心拍数を目安にすることができ、自分の目標心拍数を次の式から算出してみましょう。

式 138-(年齢÷2)
例: 50歳の場合 138-(50÷2)=113 目標心拍数

ウォーキング大会が開催!!

「県民ウォークin庄原」さとやま博プレオープンウォーキング大会」が10月2日に開催されました。好天に恵まれたこの日、市内外から参加した約800人が、国営備北丘陵公園と庄原市街地を巡る魅力たっぷりのコースでウォーキングを楽しみました。



安心・安全な 毎日のために

石油ストーブ、石油ファンヒーターを正しく使いましょう!!

冬場は、暖房器具を使用する機会が増えますが、同時に暖房器具による火災が発生しやすい時期となります。石油ストーブ、石油ファンヒーターの周りは整理整頓を!

暖房器具を使う際には、十分な注意をお願いします。

石油ストーブ、石油ファンヒーターが原因の火災事例

- 周囲の洗濯物などに火が付いた。
- 近くのカーテンや建具、家具に火が付いた。
- ヘアスプレーなどを近くに置いていた。

- いたら破裂した。
- 灯油とガソリンを間違えて給油し、数分後に出火した。
- 給油していて、こぼれた灯油に火が付いた。

火災を起こさない対策として

- 周囲に燃えやすいものやスプレー缶などを置かない、洗濯物を干さない。
- カーテンや家具に近づけない。
- 給油するときは、灯油であることを確認し、必ず火を消してから行う。
- 石油タンクのキャップがしまっているか必ず確認する。
- 部屋を離れるときは、消火する。

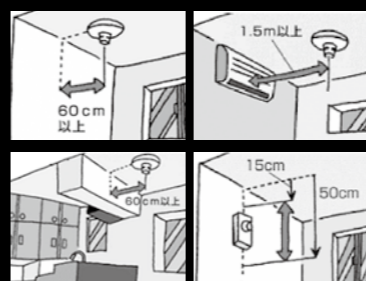
住宅用火災警報器の設置期日が迫っています

「1日も早い設置」をお願いします。

設置期日
既存住宅は、平成23年5月31日まで

設置する警報器の種類

- 寝室、階段(1階以外に寝室がある場合)…煙感知器
- 台所(任意)…熱感知器



平成22年度全国統一防火標語
「消したかな」あなたを守る 合言葉

庄原消防署 ☎0824729911
東城消防署 ☎0847724005



「庄原ウォーキングマップ」ができました

市民の皆さんが楽しく健康づくりに取り組めるように、各自治振興区の協力を得て「庄原ウォーキングマップ」を作成しました。このマップを利用してウォーキングを始めませんか？市内を歩くことで、健康づくりと同時に今までの731255)まで。

知らなかった庄原市の魅力も感じるようになります。ぜひご利用ください。

※庄原ウォーキングマップは、市のホームページからダウンロードできます。

お問い合わせは、保健医療課健康推進係 ☎0824731255)まで。

歩き方

効果的なウォーキングのための正しい歩き方

ウォーキングに慣れるまでは、ゆっくりでもよいので正しい姿勢を保つことに重点をおいて歩きましょう。



◎正しい足の運び方(足裏の重心移動)

からだのさまざまな部位に余計な負担をかけないために、1~4の順に正しい重心移動を心がけましょう。

- ①かかとで着地 (※やや足の外側から移動する感じで)
- ②小指の付け根
- ③親指の付け根
- ④親指で踏み込む

水分補給のポイント

のどが渴いたら必ず水分補給をしましょう。15~25分に1回が目安です。糖分が少ないスポーツドリンクやミネラルウォーターなどがおすすめです。朝起きてすぐにウォーキングをする場合は、水分を補給してから出かけましょう。



熱気に包まれた会場

工 業
商 観

市内に就職先を求めて熱気 庄原市合同就職面接会

市とハローワーク庄原が共同で主催する「庄原市合同就職面接会」を11月14日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

この面接会は、昨今の低迷する雇用情勢の中、市内の企業とその事業内容を広く周知するとともに、市内での就職を促進し、定住者の増加をめざすことを目的に開催しています。2年目となった今年は、高校生4人をはじめ、20代から30代の若者を中心に総勢59人の求職者が会場を訪れ、会場内にブースを構えた20の

企業の中から、就職を希望する企業の面接に臨みました。

訪れた求職者は、厳しい雇用情勢に負けまいと、企業の担当者の説明に聞き入ったり、自己アピールで意気込みを伝えたりするなど、各ブースは熱気に包まれていました。

涯 課
生 学 習

実業団の選手から 基本技術などを学ぶ レベルアップスポーツ教室開催

庄原市レベルアップスポーツ教室を11月6日、市総合体育館で開催しました。

今回で3回目となるバレーボール教室に、市内小学生6チーム66人が参加。講師のマツダ女子バレーボール部の選手13人から、パスやレシーブ、基本技術などを学びました。また、夢を持つことの大切さを学ぶ講演では、選手や監督などの体験談に耳を傾け、努力する大切さを学びました。

教室終了後はサイン会が開かれ、講師とのふれあいの時間を楽しみました。



レシーブの指導を受ける子どもたち

参加した井西みきさん(比和小6年)は「やさしく、丁寧に教えてもらってよかった。来年も参加したい」と話していました。



文字資料を基に解説する西別府教授

涯 課
生 学 習

郷土の歴史に目を向ける 地域アカデミー講座「古代備北の鉄生産」開催

広島大学歴史文化化学講座と共催する地域アカデミー講座を11月7日、西城公民館で開催しました。

今回は、「古代備北の鉄生産」をテーマに、広島大学の西別府元日教授と古瀬清秀教授が、「鉄作り」が古代の庄原で重要な産業であったことを、

身近な話題を交えながら解説。

市内には、庄原の歴史を物語る山城跡やたたら跡といった貴重な文化財があり、これらに目を向ける絶好の機会となりました。

参加者は「身近な歴史について勉強することは、郷土を大切にしていく上でとても重要。庄原に住む若い方たちが積極的に参加することで、地域の活性化につながるのでは」と話していました。

今回は「甲山城と山内首藤氏」をテーマに、来年3月ごろに開催する予定です。戦国時代の庄原を学んでみませんか。ぜひご参加ください。

涯 課
生 学 習

愛称は「庄原さくら球場」 庄原市運動広場の愛称が決定!

庄原市運動広場の愛称が、田中秋人さん(板橋町)の応募作品「庄原さくら球場」に決定しました。

愛称は、8月15日から募集を始め、市内外から237作品が応募。その中から愛称となる最優秀賞1作品

と優秀賞2作品が選ばれました。また、この作品の表彰式が、10月17日に庄原市運動広場で開催された。第34回青少年健全育成野球大会の開会式に先立ち行われました。表彰式では、最優秀作品と優秀作品の受賞者に、辰川五朗教育長がそれぞれ賞状と副賞を授与。愛称が発表されると、場内に大きな拍手が沸き起こり、参加者みんなで愛称決定を喜びました。



表彰を受ける受賞者。右端から竹下等さん(優秀)、田中秋人さん(最優秀)、田中弘子さん(優秀)



設置された愛称プレート

これから、「庄原さくら球場」の愛称が市民の皆さんに浸透し、もともと多くの方に利用される球場になることを期待しています。

政策推進課
環境衛生課

バイオマスと環境のイベントを 同日開催

「しようばらバイオマスフォーラム2010」と「庄原市リサイクルフェスタ」が11月13日、リサイクルプラザで開催されました。

両イベントが同日開催2年目となる今年は、600人を超える人が来場。

バイオマスフォーラムでは、ペレットストーブの展示即売や竹・木材を利用した商品の紹介・販売、間伐材を使ったペン立て作りのほか、竹の活用に関する講演などに多くの人が集まりました。



環境ポスター・標語コンクールの受賞者



間伐材でペンたてを作る子どもたち



健康づくりを地域みんなで 森脇地域自治振興区がウォーキング大会

REPORT ③

森脇地域ウォーキング大会が、10月16日に開催されました。これは、健康づくりの一環として森脇地域自治振興区が主催したもので、晴天に恵まれたこの日、地域から幅広い年齢層の29人が参加しました。

今回は、市が作成したウォーキングマップを活用し、国重要文化財荒木家住宅を中心としたコースに添って散策。ウォーキング終了後には、地元女性グループが準備したおむすびや豚汁をみんなで味わいました。

参加者は「いい汗をかけた」「こんなところがあったとは知らなかった」「同じ地域の人でも知らない人がいたが、コミュニケーションがとれた」などと話し、楽しい一日を過ごしていました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

REPORT ④

約50年ぶりの土俵入り 大相撲庄原さとやま場所が開催

庄原で約50年ぶりの地方巡業『大相撲庄原さとやま場所』が10月29日、市総合体育館で開催されました。



▲堀江校長から花束を受け取る琴南場さん

開催に先立ち、財団法人日本相撲協会の九重巡業部長から、7月16日の災害に対する見舞金が滝口季彦市長へ手渡されました。会場となったアリーナは、実

行委員会が招待した市内の小学生645人を含む約2,700人の観衆で満員御礼となり、迫力ある力士の取組と大きな歓声で溢れる熱気に包まれました。

東城町出身で今年3月に佐渡ヶ嶽部屋へ入門した琴南場さんも、早朝からの公開稽古や取組で成長した姿を披露。取組前には恩師である東城中学校の堀江信之校長から花束贈呈と激励を受けました。

取組を締めくくる結びの一番では、横綱白鵬が貫禄を見せ付け大関琴欧州を圧倒。大歓声で幕を閉じました。



日ごろの感謝を込め男性が手料理 東城でふれあいミニサロンと試食会

REPORT ⑤

東城町の下町自治振興区と下町きらら会が10月9日、東城文化会館でふれあいミニサロン&試食会を開催しました。

これは、日ごろ、家事を任せている女性たちに、男性たちが感謝の気持ちを手料理にして伝えようと企画したもので、4人の男性たちが自慢の腕を振るいました。

この秋とれた新米やこだわりの食材を使い、ゆず風味のちらし寿司やさわらの翁焼き、けんちん汁やきのこの炒め物など、秋の味

覚たっぶりのごちそうが出来上がりました。

おいしい料理に会話も弾み、笑顔があふれました。女性たちは、男性陣の頑張り「おいしかった。ありがとう」と口々に感謝していました。

企画した自治振興区役員の松田通治さんと川上祐三さんは、「妻が入院したときに、初めて一人で家事を経験した。そのときに感じた日々の家事の大変さが今回の企画につながった」と話していました。



▲手料理を味わう女性たち

▲料理をつくる男性陣



ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

REPORT ①

スポーツの秋～地域の代表選手が熱戦～ 第5回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会

第5回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会が10月30日、上野総合公園陸上競技場で開催されました。

当日は、台風の影響から肌寒さを感じましたが、市内各地域から選考会を勝ち抜いた30チーム150人の精鋭が集まり、熱戦が繰り広げられました。

プレー開始当初は、いつもと違うメンバーと緊張感のためか、静かな立ち上がりでしたが、時間の経過と

ともに、「ナイスプレー！」や「あ～残念」といった掛け声が飛び交うなど、選手たちは笑顔でプレーを楽しみました。

成績結果は次のとおりです。

●団体戦 順位表

	男性の部	女性の部
優勝	高野男性チーム	帝釈・Cチーム
準優勝	帝釈・Aチーム	高野女性チーム
第3位	庄原男性Bチーム	東城・中Dチーム

●個人戦 順位表 ※敬称略

	男性の部	女性の部
優勝	奥山 敏和(高野男性)	橋根 公子(帝釈・C)
準優勝	中村 克己(高野男性)	土居 政子(高野女性)
第3位	生熊 剛士(東城・上A)	佐々木千江子(東城・中D)
第4位	瀬戸 照静(帝釈・A)	瀬戸 コシズ(帝釈・C)
第5位	石川 平三(口和男性)	瀬尾 トシコ(高野女性)



▲プレーを楽しむ選手たち

子どもたちの笑顔あふれる 第10回こどもまつりが開催

REPORT ②

『七塚原はみんなの笑顔満開』をテーマに10月24日、第10回こどもまつりが高原の家七塚で開催されました。この日は、あいにくの空模様でしたが、同時開催の「広島県立畜産技術センター一般公開」と合わせて、親子連れや一般市民など約3,200人が訪れました。

このイベントは、子育て世代を応援しようと、市内の各団体が構成するこどもまつり実行委員会が企画。板橋一心太鼓の力強い演奏で幕開けし、広島県警音楽隊の素敵な演奏や、らんま先生のe c o実験パフォー



▲体験コーナー牛乳バックで遊ぼう



▲らんま先生のe c o実験パフォーマンス

マンスなどで会場は盛り上がりしました。

会場内では、消防はしご車やパネル展示など親子で楽しめる内容が盛りだくさん。畜産技術センターへシャトルバスも走り、牛舎の見学なども人気でした。また、子育てサークルやボランティアグループのアトラクション、保育所の保護者や地域の方による手づくり感あふれる体験コーナーもあり、子どもたちは雨にも負けず楽しい1日を過ごしていました。

上野総合公園で清掃ボランティア 庄原市シルバー人材センター・庄原ライオンズクラブ

REPORT ⑨

市民の健康作りや憩いの場となっている上野総合公園で、市内2団体が清掃ボランティアを実施しました。庄原市シルバー人材センター(理事長:伊藤昇)は10月16日、10月第3土曜日を「シルバーの日」とする全国一斉の奉仕活動として、本所会員91人が公園内の県道



▲落ち葉を掃き集める
シルバー人材センター会員の皆さん

沿いを中心に、ゴミ拾いや落ち葉などを掃き集めました。参加した会員は「日ごろからたくさんの方が散歩する公園。気持ちよく利用してもらえよう少しでもきれいにできれば」と話していました。

また、庄原ライオンズクラブ(会長:谷口琢磨)の会員18人が11月10日、上野総合公園弁天島周辺の草刈りを実施しました。例年、ライオンズクラブは、毎年10月8日を「ライオンズデー」とする全国的な奉仕活動を実施しており、昨年に引き続いて上野公園での清掃活動となりました。



▲草刈り作業に汗を流す
庄原ライオンズクラブの皆さん

2団体の奉仕作業で、これからも気持ちよく利用することができます。

REPORT ⑩

地域で秋の収穫を祝う 第6回ひげおやじの館収穫祭

第6回ひげおやじの館収穫祭が10月24日、ふるさと村高暮で開催されました。

当日は、あいにくの雨でしたが、この日を心待ちにしていた約60人が参加。今年は、ふるさと村高暮の宿泊利用ができるようになったことから、前泊した参加者もいました。



▲大好評の猪肉の燻製

地元高暮自治振興区が協力し、天然アユの塩焼きや猪汁、山菜お

こわや新米むすびなどを販売。中でも猪肉の燻製は好評ですぐに完売になりました。このほか、会場内ではミニ動物園や体験コーナーも行われました。つた籠作りを体験した参加者は、地元の方から指導を受けながら約30分かけて籠を完成させ「自宅でもぜひ作りたい」と喜んでいました。

主催した農家民宿ひげおやじの館の長宗弘義さんは「来年はもっと趣向を変えて開催したい。ぜひ遊びに来てほしい」と話していました。



迅速な作業が一命を救う ヘリコプター救急シミュレーション訓練

REPORT ⑪

高野福祉保健センター裏のヘリポートで10月15日、ヘリコプター救急シミュレーション訓練が行われました。

訓練内容は、高野福祉保健センター前の県道39号線で自動車同士の衝突事故が発生し、車内に重症の患者が1人取り残されたという想定のもと、日没で確認しにくい状況からヘリコプターを要請、患者を救急搬送するというもの。上空に現れた広島県防災ヘリコプターが、ぐるりと旋回しヘリポートに着陸。備北消防の救急隊員から県防災航空隊に重症患者が迅速に引き継がれました。

搬送作業を見守った参加者は「山間部に生活する者にとって、とても心強い」と話していました。



▲搬送作業のようす

REPORT ⑫

歴史の面影を残す城下町に多くの人 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

10月29日から11月5日までの8日間、街道東城路(東城本町筋)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。



▲お通り

城下町のたたずまいを残す東城のまちなかが、ギャラリーに生まれ変わり、町内外から大勢の人たちで賑わいました。

訪れた方々は、手作りの作品や各家のお宝を眺めたり、

町の人たちとの会話や買い物をしたりして、思い思いの散歩を楽しんでいました。

また、日本でただ一人の指画(筆を一切使わず、指や手の甲、爪などで描く画)作家の濱田珠鳳さんの実演をはじめ、屋外ステージではコンサートなどが催されました。

期間中には「お通り」や「五日催し」も開催され、秋の東城に華やかな彩りを添えました。



▲まちなかのあちらこちらで作品展示

子どもたちを中心に交流が深まる 第14回口北ふれあい広場が開催

REPORT ⑬

口北小学校の児童たちが、地域の皆さんや保護者と交流する第14回口北ふれあい広場が11月7日、口北小学校で開催されました。



▲グラウンドゴルフを楽しく教わる児童

児童たちは、招待した地域の方と保護者65人の前で、クラスごとの学習発表会や全校合唱、銭ばいなどを披露。地域の方からは「フライングディスク」と「グラウンドゴルフ」を教わるなどして、交流を深

めました。昼食会では、児童たちが大切に育てた野菜などを使って、おむすびや豚汁を作って振る舞いました。また、地域の方が持ち寄った「我が家の自慢の一品」をみんなで味わい、子どもたちを中心に地域の和が広がる一日となりました。

口北小学校の高根真澄教頭は「地域の皆さんと一緒に活動する機会は少ないので、今後もぜひ続けていきたい」と話していました。



▲子どもたちが元気に発表

REPORT ⑭

栗田川流域農地・水・環境を守る会が最優秀賞 農地・水・環境保全向上対策の取り組みが評価

農地・農業用水などの資源や農村環境を守り、その質の向上を図る「農地・水・環境保全向上対策」で優れた活動を行った団体に贈られる、平成22年度中国四国農政局最優秀賞に、東城町の「栗田川流域 農地・水・環境を守る会」(会長:藤本勲)が選ばれ、11月22日に東城支所で、勝山達郎中国四国農政局長から表彰を受けました。

今回の受賞は、地域が一体となって行う保全活動、都市と農村の交流、地域文化の伝承や、アイガモ農法を通じ、学校と連携して行う食育の取り組みなどが高く評価されました。会長の藤本勲さんは「活動が評価されてうれしい。こういった活動が各地域でもっと広がれば」と話していました。表彰式後には、栗田集会所に移動し、地元の農業者と勝山農政局長による意見交換会が行われ、農村の抱える課題や今後の農業の展望などについて有意義な議論が交わされました。



▲農政局長から表彰状を手渡される藤本会長

あこがれの広島カープの選手と交流 アオダモの杜植樹地整備・カープ野球教室

REPORT 12

総領町稲草「なかつくに公園」と「田総の里スポーツ公園」で11月6日、アオダモの杜植樹地整備とカープ野球教室が開催されました。

広島東洋カープの選手と共に、木製バットの原材料であるアオダモなどの苗木を植樹する「アオダモの杜」



づくりに取り組んで今年で4年目。今回は「庄原さとやま博」の一環として、市内の少年野球団体を招き、植樹地の整備と野球教室を開催しました。野球教室には、市内の少年野球7チーム

66人が参加。あこがれの選手から指導を受け、熱心に取り組んでいました。教室後には交流会も行われ、餅つきや抽選会で盛り上がりしました。



▲熱心に耳を傾ける選手たち

参加者を代表して総領少年野球主将の永山楓さん(6年)が「教えていただいたことを今後のプレーに生かして練習を頑張ります。応援していますので来年は優勝してください。来年は優勝記念の木を植えましょう」とお礼とエールを送りました。

REPORT 13

さとやまの魅力を切手で全国に発信 『庄原さとやま博』オリジナルフレーム切手が販売

みつけ体験・「さい」発見！庄原さとやま博の開幕を記念して、10月25日からオリジナルフレーム切手の販売が始まりました。

このオリジナルフレーム切手は、80円切手10枚のシートで、さとやま庄原の秋の景色やイベントが紹介されています。

同日、郵便局株式会社や市など関係者が出席して、市役所で切手シートの贈呈式が行われ、備北地区統括局長で豊松郵便局の小坂佳敬局長から滝口季彦市長と庄原市観光協会連合会の塩本誠二会長に『庄原さとやま博』オリジナルフレーム切手が手渡されました。

フレーム切手を受け取った滝口市長は「1年2カ月間にわたってさとやま博を展開する中で、もう一度さと

やまを見つめ直して、この宝を全国に発信していきたい」と喜びを表していました。

小坂局長は「活力を取り戻すよう地域をあげて応援したい。庄原を切手でアピールして、多くの人に庄原へ来ていただきたい」と話していました。



▲切手を受け取る滝口市長と塩本会長

色付くもみじと歴史を堪能 弁当を持って大富山に登ろう

市の史跡に指定されている山城跡大富山に登るイベントが11月14日に開催され、約60人が参加しました。

この山登りは、地域の名所に親んでもらおうと備北商工会と西城町観光協会が企画し、今年で9回目になります。大富山が憩いの場となるよう、毎年この日に合わせて、地元自治振興区が中心となり住民が協力して登山道周辺の環境整備も行われています。

山頂では、参加者の田盛茂さんが素敵なハーモニカの演奏を披露し、曲に合せ全員で「もみじ」を合唱。大富山の歴史の説明やお楽しみ抽選会なども行われ、晴天に映える紅葉を眺めながら秋の一日を楽しみました。



▲美しい紅葉の下で弁当を広げる参加者

生活相談

身体障害者補装具判定会

〔聴覚〕 12月16日(木) 受付 13時～14時

広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1 ※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。 ☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域 12月21日(火)・1月4日(火) 13時30分～16時30分
●東城地域 12月6日(木) 13時30分～15時30分
東城ふれあいセンター ●総領地域 1月11日(火) 9時～11時
総領健康福祉センター
問い合わせ 三次人権擁護委員協議会

☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域 12月16日(木) 10時～15時
庄原市ふれあいセンター ※1週間前までに女性児童課子育て支援係へ予約を。 ☎0824-73-0051

●東城地域 12月17日(金) 10時～15時

東城支所 ※1週間前までに東城支所保健福祉室へ予約を。 ☎08477-25131

障害者相談員定期相談会

〔庄原地域〕 知的 1月17日(月) 13時30分～16時30分

庄原市ふれあいセンター ※事前予約もできます。 問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210

健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

●心の健康相談 ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。 12月21日(火) 13時～14時30分

●Eイズ検査相談

検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。 12月8日(水)・1月12日(水) 13時～15時

申し込み・問い合わせ 広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5181

庄原市消費生活センター

契約のトラブルや多重債務など消費生活に関する相談をお受けし、解決のためのお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。 とき 毎週月・金曜日(祝日・年末年始除く)

催し

まちなかイルミネーション

昨年から範囲を広げた紅梅通り、市役所周辺をはじめ、今年の上野池周辺のイルミネーションがスケールアップ。光の花による満開の桜が登場します。丘陵公園のウイスターイルミネーションと合せてお楽しみください。

9時～16時(12時～13時休み) 市役所1階市民生活課内

☎0824-73-1228

一人でも悩まないで 必ず相談してください。 業務のご案内 ●不動産の名義変更 ●成年後見 ●相続登記・遺言 ●会社の登記 ●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等 ●詳しくはホームページに書いています。 庄原 司法書士 検索 司法書士 飯田 一生 広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号) 〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナッシュB2階 TEL0824-72-2315

「この社会あなたの税がいきている」 インターネットでも申告・納税できる e-Tax (国税電子申告・納税システム) 利用推進運動中 http://www.e-tax.nta.go.jp 社団法人 庄原法人会 がんばりますよき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献 庄原法人会 〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内) TEL 0824-72-1889 (FAX兼用) HP : http://www.10.ocn.ne.jp/~shk/

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

応募資格	受付期間	試験期日
15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業者又は中等教育学校の前期課程修了者(見込み含む)	1月7日(金)まで	1次試験 1月22日(土) 2次試験 2月5日(土)～8日(火)

問い合わせ 自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350 総務課行政係 ☎0824-73-1123

募集

「ごみ収集カレンダー」へ
広告を掲載しませんか!?

市が作成する平成23年度版の「ごみ収集カレンダー」への広告掲載を募集します。

募集枠 12枠

規格 縦3枚×横25枚
(見開きカレンダー)

配布部数

市内全世帯へ約1万6千部

配布

広告料金 1枠1万円

募集期間

12月22日(水)まで

※応募多数の場合は、市内の方を優先し、先着順とします。

申し込み・問い合わせ

財政課理財係

☎0824-73-1202

「庄原文芸」第39号原稿募集

庄原文芸は、市民の皆さんの文芸活動の広場です。

今年も次の要領で原稿を募集します。

募集資格

庄原市文化協会加盟のサークルに所属している人、市内に在住・勤務・通学の人、もしくは当協会から特別寄

稿をお願いした人。

募集部門

詩(1人一篇)、短歌(1人4首)、俳句・川柳(1人6句)、写真・絵(1人1点)、小説・随筆・創作・記録など(1人1点)

出稿料

●原稿用紙1枚を1千500円とし、以後1枚増すごとに500円を加算してください。

●文中に写真を挿入される場合は、写真E版1枚を原稿用紙1枚分に換算してください。

●「写真・絵」部門は、誌面1ページ使用のため原稿用紙3枚分になります。(出稿料2千500円、カラー15千円)

●なるべく各サークルでまとめて、次の口座へ振り込んでください。

郵便振替 口座番号

01390350520

名義 庄原市文化協会

「庄原文芸」係

応募締切 1月31日(月)

送付先

〒727-0005

庄原市川手町13183

「庄原市文化協会・庄原文芸」係

林 武志 あて

その他

●原稿用紙は縦書きです。文字は丁寧にお書きください。

●作品には、住所・名前をお忘れなくご記入ください。

問い合わせ

林 武志

☎0824-72-3286

その他

家屋の取り壊しや
新築の届け出を!!

固定資産税は、その年の1月1日現在に、固定資産(土地、家屋、償却資産)を所有している方に課税される税金です。

家屋を取り壊された場合や、災害などによつて家屋が滅失した場合には、「家屋異動申告書」を税務課または最寄りの支所税務担当係に提出してください。(様式は税務課または支所に備えて付けています。)

取り壊しまたは滅失した家屋の固定資産税は、翌年度から課税されません。

また、家屋を新築・増築した場合や、家屋の用途を変更した場合(たとえば、住宅

の人。(年金受給者は対象外)支給額

月額1万4千380円

※施設に入所した場合は、資格が喪失します。

(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

●支給月

いずれの手当も2・5・8・11月に前3カ月分の手当を支給

●手続きに必要なもの

診断書(指定の用紙)、印鑑、所得状況届および年金・恩給受給額の確認書類、振込先通帳など。

●手続き・問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係

☎0824-73-1210

または各支所保健福祉室・市民生活室

農業委員選挙人名簿
登録申請書の提出を

この申請書は、10アール以上の農地を耕作されている農家の皆さんに、毎年提出をお願いしています。

来年7月に農業委員選挙が行なわれます。申請書が提出されないと投票ができなくなりますのでご注意ください。

水道管にも冬じたくを

本格的な寒さを迎える季節となりましたが、水道管の防寒対策は万全ですか?

気温がマイナス4度以下になると、防寒の不十分な水道管は凍ったり、破裂したりすることが多くなります。

水道管が破裂して漏水が起これると、修理代や水道料金など負担が増えるばかりでなく、水資源の無駄使いにもなります。

凍りやすい水道管は、タオルや毛布、専用のチューブな

から店舗へ、店舗から倉庫へ変更)も、あわせて連絡をお願いします。

なお、木造か非木造かもお知らせください。

問い合わせ

税務課資産税係

☎0824-73-1144

特別障害者手当および
障害児福祉手当の支給

●特別障害者手当

対象 精神または身体に著しく重度の障害があるために、日常生活で常時特別の介護を必要とする状態にある20歳以上の人。(審査あり)

支給額

月額2万6千440円(原爆介護手当との支給調整あり)

※施設へ入所、または3カ月以上入院した場合は、資格が喪失します。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

●障害児福祉手当

対象 精神または身体に重度の障害があるために、日常生活で常時特別の介護を必要とする状態にある20歳未満

どを使って必ず防寒し、破裂事故を未然に防ぎましょう。

●凍ってしまったら...

凍った部分にタオルをかぶせて、その上からぬるま湯をゆっくりかけて溶かしてください。

●破裂したら...

水道メーターボックス内にあるバルブを閉めて、お近くの指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

問い合わせ

水道課工務係

☎0824-73-1170

広告 司法書士法人SOLY(ソリー) <http://soly.jp>
 ~本年4月1日、ピオーネ支店を開設致しました~

「遺言・相続」「借金問題」「成年後見」「登記手続」
 どうしたらいいの?

今月のセミナー
 「知ってみよう! 相続のしくみ」
 ~よくある疑問におこたえします~

12日(日) サングリーンコミュニティホール
 13時30分~講演 14時30分~質疑応答

電話相談【無料】フリーダイヤル ☎0120-08-4864
 相談メール info@soly.jp

在籍司法書士 藤原快行 沖本真由美 中村麗子 照本夏子
 長野十郎 桑原地朗 浜田真規子

ピオーネ支店 三次市十日市中2丁目4番6号
 本店 広島市中区八丁堀3番8号

広告 トーエイ ネットスーパー スーパーの食材がネットで買える

おつかい便

重いもの、まとめ買いが便利!

カタログ注文もご利用頂けます。詳しくはお電話で

☎0120-108-800

株式会社トーエイ 〒729-5121 庄原市東城町川東 1172 番地 TEL (08477) 2-4111

広告 「信頼のきずな」未来を拓く運動展開中

NOSAIの建物共済

住みいる

火災/総合

わずかな掛金で大きな補償

万一の災害に備えて...

火災共済 火災・落雷などから大切な財産を守ります。

総合共済 火災・落雷事故に加え、自然災害まで幅広く補償します。

加入を検討される場合は、お気軽にご相談ください。

NOSAI 北部 広島県北部農業共済組合
 〒729-6201 三次市和知町360-5
 TEL 0824 (66) 3111 FAX 0824 (66) 3130

NOSAI北部 検索

NOSAI北部で検索
 クリック!!

市内の主な施設 年末年始の業務状況

年末年始の業務予定は、次の表の通りです。■の部分が一休日となりますのでご確認ください。なお、「出生」、「死亡」、「婚姻」など戸籍に関する届け出や、埋火葬、斎場使用の許可手続きなどは、休み中でも取り扱います。詳しくは担当課までお問い合わせください。

		12/25(土)	12/26(日)	12/27(月)	12/28(火)	12/29(水)	12/30(木)	12/31(金)	1/1(土)	1/2(日)	1/3(月)	1/4(火)	1/5(水)
市役所(本庁・各支所)	☎0824-73-1111												
田園文化センター	☎0824-72-1159												
総合体育館	☎0824-72-8000				17時30分まで								
ふれあいセンター	☎0824-75-0301												
市民会館	☎0824-72-0849												
西城市民病院	☎0824-82-2611												
時悠館	☎08477-6-0161												
ごみ処理	収集(東城地域以外)												
	収集(東城地域)												
	備北クリーンセンター	☎0824-72-2044											
	リサイクルプラザ	☎0824-72-1398											
持ち込み	東城クリーンセンター	☎08477-2-0214											
	東城資源ごみ集積所	☎08477-2-1026											

■が休業日 ※その他の施設については、直接各施設へお問い合わせください。

広島県立三次看護専門学校入学生募集

次のとおり学生を募集します。

学 科	募集人員	受験資格	修業年限	受付期間	試験日
第一看護学科	60人	高等学校卒業者(平成23年3月卒業見込みの者を含む)、またはこれと同等以上の学力があると認められる者	3年	1/4(火)~ 13(木) (郵送の場合は1月13日の消印有効)	1/27(木) ・28(金)
第二看護学科	20人	准看護師の免許取得後、3年以上業務に従事しているもの、もしくは准看護師の免許取得者(平成23年3月免許取得見込みの者を含む)、高等学校卒業者(平成23年3月卒業見込みの者を含む)、または高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる者	2年		1/26(水)

試験会場および問い合わせ

広島県立三次看護専門学校 〒728-0023三次市東酒屋町字敦盛518-1 ☎0824-62-5141

あっぱれ庄原
全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が主催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

県大会

広島県高等学校
なぎなた選手権大会

(10月24日・広島市)

優勝 ● 競演演技の部(ペア)

足立 朱穂(庄原実業高3年)

優勝 ● 試合競技の部(個人)

足立 朱穂(庄原実業高3年)

第4位 森本真由子(庄原実業高1年)

広島県連盟対抗剣道大会

(10月17日・びんご運動公園)

● 団体の部 第3位

庄原市剣道連盟

有重 実結(日彰館高2年)

保田 浩幸(神辺旭高3年・東城町)

大塚 哲也(東城町)

小林 道弘(西本町)

竹尾 都人(板橋町)

高木 保(東城町)

田淵 秀彦(西城町)

広島県民体育大会剣道競技
(スポーツ少年団の部)

(10月31日・広島県立総合体育館)

● 中学生女子の部
第3位 東 朱李(庄原中3年)

広島県高等学校
駅伝競走大会

(11月7日・三次市)

● 男子の部
優勝 藤川 拓也(世羅高3年・水越町)

松井 智靖(世羅高3年・高町)

● 女子の部
優勝 田邊 千乃(世羅高3年・木戸町)

中国なぎなた
選手権大会

(11月7日・米子市武道館)

● 演技競技(高校生の部)
優勝 足立 朱穂(庄原実業高3年)

● 試合競技
第3位 (一般高校生男子の部)

足立 龍邦(庄原格致高1年)

全日本卓球選手権大会
(ジュニアの部)

(9月11日・広島市南区スポーツセンター)

● 男子シングルス
第3位

中田 一也(近天付属高1年・高町)

※該当する方の情報は
企画課広報統計係
☎0824-73-1159
までお寄せください。

12月30日(木)まで
「ウインターイルミネーション
2010 開催!

休園日/12月6日、13日、27日

備北公園管理センター
☎0824-72-7000(<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

備北丘陵公園
だより



「ロードトレイン」
「銀河鉄道」出発進行!

機関車が客車3両を牽引する雰囲気満点の乗り物です。機関車、客車もイルミネーションで輝きます。

運行区間

北入口会場「北ステーション」~中入口会場「中ステーション」

料金(片道)

大人400円、小人200円(平日は半額)

各乗り場で切符を発行(硬券切符)

定員 1列車50人
とき

先月に続いて「ウインターイルミネーション」の楽しみをご紹介します。
中入口会場には「銀河鉄道」をモチーフにした壮大なイルミネーションが、北入口会場には「デコレーションケーキ」をモチーフにしたイルミネーションが登場。

食の楽しみ
イルミネーションディナー

庄原の食材を取り入れた本格的なフレンチディナーをどうぞ。

とき

12月19日までの土・日・祝、
12月20日(月)~12月26日(日)
料金 お一人3千500円
完全予約制

ご予約
☎0824-72-7211まで

● 大好評!「庄原焼」
てっぱんグランプリ準備優勝の味をどうぞ。

とき 12月4日(土)、11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)

場所 中入口会場

● 中入口会場「ひばの里山屋敷」で、あったかい「ぜんざい(1杯200円)」をどうぞ。「いちごぜんざい(1杯300円)」、「ブルーベリーぜんざい(1杯300円)」は、「あん」の甘さと酸味が

ほどよくまざり、さっぱりした味でおいしいです。

Special presents
「花火タイム」

クリスマスイヴとウインターイルミネーション最終日に300発の花火を打ち上げます。冬空に咲く花火はいちだんときれいに見えることでしょう。

とき 12月24日(金)、30日(木) 20時~

● 北入口会場の「ウィッシュホール」ではメッセージカードをツリーに飾ることが出来ます。「結婚できました」という、うれしいご報告も...。

年末年始の開園日について

年内は30日(木)まで開園します。31日(金)、1月1日(祝)は休園日です。新年は1月2日(日)より開園いたします。

人の動き
平成22年10月末日現在

●住民基本台帳登録人口
人口 40,712人(前年比-541人)
男 19,346人(前年比-233人)
女 21,366人(前年比-308人)
世帯数 16,091世帯(前年比+10世帯)

●外国人登録人口
人口 325人(前年比+8人)

**市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX**

市街地の空き店舗を活用した、
各種展示ができる市民ギャラリーです。
庄原こども美術館 児童画展示
とき 1月9日(日)~11日(火)
10時~17時
☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込み
ください。使用料はいりません。

ふれあい市長室の日程
☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

◎とき 1月8日(土) 9時~12時
◎ところ 高野支所
※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当
課へお願いします。

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
★出展者募集中! あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締切です。
★申し込みは
交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで
1月 《とき》 1月9日(日) 10時~14時
《ところ》 中本町商店街周辺
(のぼりが目印)
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>

広報日記

取材中の診療所で、一人の患者さんが診療
後の帰り際に「先生の顔を見さえすれば風邪
は治るんよ」と一言。それを聞いた先生はうれ
しそうに満面の笑みを浮かべていました。そ
のやり取りは、とても心地のいい瞬間でした。
市内の病院や診療所でこういった光景がもつ
と増えればいいですね。🎵

**市税・水道料金・下水道使用料
納付は口座振替が便利です**

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
※残高確認も忘れないでください。
●税務課収納係 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課庶務係 ☎0824-73-1197

犬・猫の引き取り
☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

12月・1月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

庄原 地域	毎月第1~第4火曜日 12月14日・21日 1月11日・18日・25日	11:00~11:10 東自治振興センター 11:25~11:35 市役所車庫 11:50~12:00 敷信自治振興センター
西城 地域	毎月第1・第3木曜日 12月16日、1月6日・20日	9:00~ 9:10 西城支所前
東城 地域	毎月第1・第3木曜日 12月16日、1月6日・20日	9:40~ 9:50 小奴可研修センター 10:20~10:30 東城文化会館
口和 地域	毎月第4木曜日 12月20日、1月27日	11:40~11:50 口和支所前駐車場
高野 地域	毎月第4木曜日 12月20日、1月27日	13:20~13:30 高野支所横
比和 地域	毎月第4木曜日 12月20日、1月27日	13:50~14:00 比和支所
総領 地域	毎月第2水曜日 12月8日、1月12日	9:40~ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)

年末年始の引き取りを12月22日(水)~1月4日(火)まで休みますので、
庄原・口和・高野・比和地域の日程は変更しています。

男女共同参画コーナー 女性児童課 ☎0824-73-1243
「女」を表すコトバ・「男」を表すコトバ

毎年、その時代を象徴するいろ
ろな流行語が話題になります。
最近では、「草食系男子」「肉食系
女子」「育メン」など、「女」と「男」を
表す新しい言葉も生まれています。
男女のパートナーシップ、「女らしさ・男らしさ」など私た
ちの価値観も多様化しています。
「どうしてこの言葉ができたんだろう」「どんな背景があ
るのかな」と、想像してみたり、昔流行った言葉を思い出して、
社会がどう変わったか考えてみたりするのも、おもしろい
かもしれません。



配偶者・パートナーからの
暴力(DV)で悩んでいませんか
~あなたは“ひとり”じゃない~
広島県西部こども家庭センター 女性相談課
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391
広島県北部こども家庭センター 相談援助課
(配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181(内線2313)
庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243

口和郷土資料館 ☎0824-87-2230
開館日 月・木・土 9時~17時

8ミリ映画(ムービー)映写機



これは昭和30年末ごろに、オルゴールメーカーの(株)三協精機製
作所で、家庭用として製造された8ミリ映写機です。当時の価格は
25,800円でした。丈夫なアルミダイキャスト製のケースに収めら
れ、映写速度は、1秒間に16・18・24コマで逆転映写も可能です。
8ミリ映写機の歴史は古く、アメリカのイーストマン・コダック社
が、昭和7年に16ミリフィルムを半分にした8ミリ幅のフィルム(レ
ギュラータイプ)を使う映写機を開発しました。その8ミリ幅のフィ
ルムを使用したため、一般的に「8ミリ」と言えば、8ミリ映画をさす
ようになりました。その後世界各国で各種の撮影機や、映写機の製
造が行われるようになり、日本では昭和9年に8ミリ映写機が発売
されています。
昭和30年末ごろから一般用に8ミリ映画の普及が始まり、家庭で
も8ミリフィルムを使って手軽に動きのある映像を撮影し、8ミリ映
写機で上映して楽しむようになりました。このころ、国産の8ミリ撮
影機も誕生しています。その後フィルムは、白黒からカラーフィル
ムへ、形状もレギュラータイプからマガジンタイプのシングル8
やスーパー8に変わっています。
映写機は、それらのフィルムに対応できるように性能や機能が
向上し、映写レンズは固定焦点式からズーム式に変わり、トーキー
(音声)は磁気式再生に加え、光学式再生も可能な映写機へと進化
していきました。
しかし昭和40年代以降は、ビデオカメラやVTRが出現したため、
8ミリ映画用の映写機は次第に使われなくなりました。

休日診療のご案内

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

12月12日(日)	児玉医院	☎0824-72-0147
19日(日)	林医院	☎0824-72-0121
23日(木)	戸谷医院	☎0824-72-3131
26日(日)	牧原医院	☎0824-72-0057
31日(金)	戸谷医院	☎0824-72-3131
1月1日(土)	児玉医院	☎0824-72-0147
2日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
3日(月)	林医院	☎0824-72-0121
9日(日)	河本医院	☎0824-75-0311
10日(月)	笠間医院	☎0824-72-0535

●東城地域

12月12日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
19日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
23日(木)	細川医院	☎08477-2-0054
26日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
29日(水)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
30日(木)	日伝医院	☎08477-2-2180
31日(金)	三上クリニック	☎08477-2-1151
1月1日(土)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
2日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
3日(月)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
9日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
10日(月)	東城病院	☎08477-2-2150

ゆめさくら ☎0824-75-4411

【12~1月のイベント情報】

▶歳末感謝祭
とき 12月23日(木・祝)~25日(土)
各種イベント開催!

▶ゆめさくら講座
○かずら教室
「お正月の竹飾り」
とき 12月17日(金) 9時30分~12時
参加費 1,800円 定員 15人

○草木染め教室
「クッション・テーブルセンターに使える大
判の綿布染め」
とき 1月17日(月)
朝の部 9時~12時
昼の部 13時30分~15時30分
参加費 4,900円
定員 各12人 締め切り 12月30日(木)

▶展示・その他
○手仕事・里山の干支展
1月31日(月)まで

【年末年始の営業日】
・臨時営業日 12月28日(火)
・休館日 12月31日(金)~1月4日(火)
・初売り 1月5日(水)
【営業時間の変更】
・閉館時間 1月5日~3月末日まで17時
(朝どり市は通常通り16時)